

第6学年1組 社会科学学習指導案

平成24年10月19日(金)3校時

場所 6学年1組教室

指導者 教諭 石山 雄志

1 単元名 明治の国づくりを進めた人々

2 単元目標

- 黒船の来航, 明治維新, 文明開化などとそれらに関わる人物の働きや代表的な文化遺産に関心を持ち, 進んで調べようとしている。

(社会的事象への関心・意欲・態度)

- 我が国が欧米の文化を取り入れつつ, 廃藩置県や市民平等などの諸改革を行い, 近代化を進めたことや, それらに関わる人物の願いや働き, 代表的な文化遺産の意味などについて思考・判断したことを言語などで適切に表現している。

(社会的な思考・判断・表現)

- 黒船の来航, 明治維新, 文明開化などとそれらに関わる人物の働きや代表的な文化遺産について, 文化財, 地図や年表, その他の資料を活用して必要な情報を読み取り, 調べたことをまとめている。

(観察・資料活用 of 技能)

- 我が国が欧米の文化を取り入れつつ, 廃藩置県や市民平等などの諸改革を行い, 近代化を進めたことを理解している。

(社会的事象についての知識・理解)

3 指導計画

小単元名 明治の国づくりを進めた人々

時	主な学習活動 (○数字は時数)	指導上の留意点	評価
1	①明治時代になって, 世の中がどのように変わったのかつかもう。 ○江戸時代の寺子屋と明治時代の小学校の様子を比べ, 気付いたことを話し合う。 ・座る向き・教師の服装・学校の建物 ○日本橋近くの町の様子について, 江戸時代と変わったと思うことを話し合う。 ・馬車や人力車, 服装, 髪形, 建物などの変化 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 明治の国づくりをすすめた人は, どのような願いや思いで国の仕組みや社会を変えていったのだろうか。 </div>	○学校の様子の比較を通して, 人々の暮らしに大きな変化が起きたことに気づかせる。 ○生活全般にわたって大きな変化(電報や郵便, 鉄道, ガス灯, バンや牛肉などの食生活, 新聞, スポーツなど)があったことを年表からおさえる。その一方で, 多くの山村や漁村では江戸時代と変わらない暮らしが続いたことにも触れるようにする。	・明治維新の改革の大きさに興味・関心を持つ。(社会的事象への関心・意欲・態度)
2	②明治維新がどのように行われたのか調べよう。 ○黒船の来航により, 開国するまでの動きについて調べる。 ・アメリカのペリーの開国要求 ・日米和親条約と日米修好通商条約 ○薩摩藩と長州藩を中心とした勢力が幕府を倒すまでの動きについて調べる。 ・薩摩藩-大久保利通, 西郷隆盛, 長州藩-木戸孝允らの下級武士 ・徳川慶喜の大政奉還 ・明治政府軍と旧幕府軍との戦争	○軍艦の力により開国がなされ, 鎖国が終わったこと, 他の欧米諸国とも不平等な条約が結ばれたこと, 外国との貿易により国内の物価が上がり, 不満が高まったことをおさえる。 ○どうい人物であったのかを調べ, 話し合う中で社会の動きについてまとめるようにする。	・日米修好通商条約が国内生活を混乱させ, 幕府への不満を募らせたことや, 江戸幕府よりも強い政府が必要と考えた若い武士たちが明治維新を進めたことを理解している。(社会的事象についての知識・理解)
3	③明治政府が行った改革について調べよう。 ○大久保利通や木戸孝允ら明治政府が行った政策を調べる。 ・廃藩置県 ・官営工場と徴兵令(富国強兵) ・地租改正 ○地租改正や徴兵令に対する民衆の反応について話し合う。 ・重い負担に対する一揆	○教科書や図書館資料を基に, 明治政府の改革について調べさせる。 ○現金による納税に変わったものの, 負担は変わらなかったこと, 徴兵を逃れようとする動きもみられたことをおさえる。	・明治の諸改革を相互に関連づけて考え, 大久保利通らが, 富国強兵を進めるために国の財政を安定させようとしたことを表現している。(社会的な思考・判断・表現)

4	<p>④福沢諭吉の考えを読み取り、四民平等について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学問のすすめ」 ・江戸時代の身分制度との比較 	<p>○法律上はすべての国民が平等とされ、職業や住む場所が自由になったことをおさえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文明開化によって人々の意識に変化があらわれ、身分制度が改められたことを読み取っている。(観察・資料の活用の技能)
5	<p>⑤改革に不満をもった人々がとった行動について調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自由民権運動が広がった理由について調べる。 ・改革(地租、徴兵、学制)に対する民衆の反対 ・収入を失った武士(士族)の反乱→西郷隆盛を中心とする西南戦争など ○自由民権運動の考えと明治政府の対応について話し合う。 ・板垣退助らの言論による国会開設の要求 ・政府による取り締まり→開設の約束 	<p>○明治政府の急激な改革により、不満が高まっていたこと、西南戦争以後、武力によってではなく、言論による主張へと変わっていったことをおさえる。</p> <p>○立ち会い演説会の絵から、運動の盛り上がりや政府による取り締まりの様子を具体的に読み取らせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政府に不満をもつ人々の行動が反乱から言論へ変化していったことを、国会の開設を求める板垣退助の願いや行動と関連づけて考えている。(社会的な思考・判断・表現)
6	<p>⑥憲法がつくられるまでの動きについて調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国会開設に向けどのような動きがあったか調べる。 ・板垣退助や大隈重信による政党の設立 ・さまざまな立場人たちの憲法案 ○伊藤博文らによる大日本帝国憲法の内容について調べる。 ・皇帝の力が強いドイツの憲法を手本 ・天皇主権の憲法 ・衆議院と貴族院からなる国会の開設 ・一定の税金を納めた25歳以上の男子による衆議院の選挙 	<p>○憲法の制定に関して、宮城県出身の千葉卓三郎らによる「五日市憲法」をはじめ、多くの憲法の草案が作られたことを紹介する。</p> <p>○大日本帝国憲法の条文を読み、天皇を中心とした憲法であったことを読み取らせる。</p> <p>○2学期に学習する日本国憲法との違いについて、簡単にふれておくようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大日本帝国憲法の特徴について資料を活用して調べ、天皇に強い権限があることや選挙権をもつ人々(は国民の一部)だったことを読み取り、まとめている。(観察・資料活用の技能)
7	<p style="text-align: center;">明治の世の中をつかった人たちの関係を考えよう。</p> <p>⑦明治の世の中をつかった人たちの関係図を作り、学習したことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大久保利通、西郷隆盛、木戸孝允をもとにした人物関係図をつくる。 ・業績、役割、出身地、個人的つながり、新しい社会に対する思いや願い ○できあがった関係図をグループごとに発表し、感想を述べ合う。 	<p>○3人のなかで興味をもった人物を中心にし、矢印や言葉で他の二人との関係を図に表す。</p> <p>○学習したことをもとに、人物の思いや願いも書き加えるようにする。</p> <p>○さらに、坂本龍馬、勝海舟、福沢諭吉、吉田松陰、高杉晋作、伊藤博文、板垣退助、大隈重信、徳川慶喜、岩倉具視など関係する人物を、興味に合わせて書き加えるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治時代に活躍した地域の人物について、興味・関心をもって調べている。(社会的事象への関心・意欲・態度)

4 本時の指導 (1 / 7)

(1) 本時のねらい

- ・ 明治維新の改革の大きさに興味・関心を持つ。(社会的事象への関心・意欲・態度)

(2) 指導にあたって

これまで、全国統一を進めた3人の武将や江戸幕府のはじまり、参勤交代、鎖国とそれらに関わる人物の働きや代表的な文化遺産を通して、戦国の世が統一され、身分制度が確率して武士による政治が安定したこと等について学習してきた。日頃からデジタル教科書(東京書籍)を使用し、「長篠の合戦の屏風絵」や「参勤交代」、「大名配置」等の資料を大型テレビで提示し、どのように全国の支配を成し遂げたかを読み取らせたり、自分の考えの根拠を示しながら、発表したりする活動を行ってきた。

それらを踏まえて、本単元では、「明治の国づくりをすすめた人は、どのような願いや思いで国の仕組みや社会を変えていったか」について焦点を当てて学習を行っていきたいと考えている。第1時となる本時では、明治維新の改革の大きさに興味・関心を持たせたい。はじめに、「江戸時代の寺子屋」と「明治時代の小学校の学習の様子」を比較し、子どものくらしの様子が大きく変化したことに気付かせ、さらに「日本橋付近の街の様子」の資料から生活全般にわたって大きな変化があったことに気付かせ、興味・関心を引き出したいと考えている。

ICT活用としては、デジタル教科書の「My教科書エディタ」という機能を使用したいと考えている。デジタル教科書で使用されている資料の中から、ねらいを達成するために選択した資料を拡大・縮小して並べることで、掲示資料を容易に作成できる機能である。この機能を活用することで、児童は示されている資料に集中して読み取ったり、進んで考えたりするような意欲の向上につながるものと考えている。さらに、この掲示資料を印刷して児童全員に配布することで、ワークシートとしても活用できることから、児童に読み取る際の視点を与えたり、自分の考えの根拠を示しながら発表させたりする際に有効であると考えている。また、教師にとっても、授業の準備が大幅に軽減すること、既習事項の確認に活用できることなどが利点として考えられる。

(3) 指導過程

主な学習活動	○指導上の留意点 ●予想される反応	評価															
1 掲示された資料の時代の違いに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ● 江戸時代の寺子屋と明治時代の小学校の絵だ ○ 児童へ江戸時代と明治時代をする資料のプリントを配布し、同じものを大型テレビで表示することで、説明について理解が深まるようにする。 (My 教科書エディタ使用) 																
2 学習課題をつかむ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 明治時代になって、くらしの様子がどのように変わったか考えてみよう。 </div>																
3 江戸時代の寺子屋の様子 <small>の絵</small> と明治時代の小学校の様子 <small>の絵</small> を比較し、子どものくらしの変化に気付く。 4 気付いたことを発表する。 5 P.106 の明治時代の日本橋付近の町の様子 <small>の絵</small> や年表から、江戸時代と変わったと思うことをワークシートにまとめる。 6 気付いたことを発表する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 迷っている児童には、人物やものなどに着目するように声掛けする。 <table border="1" data-bbox="464 734 1161 1216"> <thead> <tr> <th></th> <th>江戸時代</th> <th>明治時代</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな位置にいる ●いろいろな向きだ ●にぎやかだ ●それぞれ学習している </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●整列している ●先生の方を向いている ●集中している ●みんなで同じことを学習している </td> </tr> <tr> <td>先生</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●ちょんまげだ ●着物を着ている ●座って指導している </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●髪が現代の人かわらない ●洋服とくつを身につけている ●立って指導している </td> </tr> <tr> <td>部屋</td> <td>●机を使っている</td> <td>●じゅんたん</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>●日本的な建物</td> <td>●西洋的な建物</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表では、大型テレビの映像を利用して、共通理解できるようにする。 ○ 迷っている児童にはワークシート(My 教科書エディタ使用)の日本橋付近の町の絵と P.86~P.88 の江戸時代の絵を比較するように声掛けを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p><日本橋付近の町の様子から></p> <ul style="list-style-type: none"> ●洋服を着ている ●靴を履いている ●帽子をかぶっている ●日傘をさしている ●馬車が走っている ●警官がいる ●人力車が走っている ●西洋的な建物がある ●髪型が今と同じ ●ガス灯がある <p><明治時代事始め年表から></p> <ul style="list-style-type: none"> ●パンが作られる ●公衆電話が始まる ●新聞が発行される ●郵便が始まる ●鉄道が始まる ●太陽暦を取り入れる ●野球が紹介される ●銀座にれんが街が完成する </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表では、大型テレビの映像を利用して、共通理解できるようにする。 		江戸時代	明治時代	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな位置にいる ●いろいろな向きだ ●にぎやかだ ●それぞれ学習している 	<ul style="list-style-type: none"> ●整列している ●先生の方を向いている ●集中している ●みんなで同じことを学習している 	先生	<ul style="list-style-type: none"> ●ちょんまげだ ●着物を着ている ●座って指導している 	<ul style="list-style-type: none"> ●髪が現代の人かわらない ●洋服とくつを身につけている ●立って指導している 	部屋	●机を使っている	●じゅんたん	建物	●日本的な建物	●西洋的な建物	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸時代と明治時代の大きな変化に興味・関心を持って比較している。(関) ○ 江戸時代と明治時代の大きな変化に興味・関心を持って比較している。(関)
	江戸時代	明治時代															
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな位置にいる ●いろいろな向きだ ●にぎやかだ ●それぞれ学習している 	<ul style="list-style-type: none"> ●整列している ●先生の方を向いている ●集中している ●みんなで同じことを学習している 															
先生	<ul style="list-style-type: none"> ●ちょんまげだ ●着物を着ている ●座って指導している 	<ul style="list-style-type: none"> ●髪が現代の人かわらない ●洋服とくつを身につけている ●立って指導している 															
部屋	●机を使っている	●じゅんたん															
建物	●日本的な建物	●西洋的な建物															
6 学習のまとめをする	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明治の国づくりをすすめた人々はどのような願いや思いで国の仕組みや社会を変えていったのか、これから学習していくことを確認する。 																

評価

- 資料から江戸時代と明治時代の変化を捉え、違いについて進んでワークシートにまとめている。

(社会的事象への関心・意欲・態度)

	B 概ね満足できるとされる姿	A 十分に満足できる児童の姿	C 支援を要する児童への具体的な手立て
社会的事象への関心・意欲・態度	資料から江戸時代と明治時代の変化を捉え、違いについてプリントにまとめている。	資料から江戸時代と明治時代の変化を捉え、比較する観点を持ちながら違いを見つけ、プリントにまとめている。	人物や物など比較する観点を示して、違いに気付けるように声掛けをする。